

## 施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出
概要	<p>元気な高齢者や資格を持った方等が身近な場所で働くことができるような環境づくりを進めます。</p> <p>また、農業については、町の主要産業の1つですが、後継者不足等により担い手不足の状況にあります。そのため、就農希望者等に対する農地のあっせんや就農相談等総合的な支援を図るとともに、特産物の普及・奨励等により食の地産地消を進めます。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	農業振興事業 (No.60)	6	92.9	100.0	0.0	0.0	0.0
(2)	遊休・荒廃農地対策事業 (No.61)	1	49.5	0.0	100.0	0.0	0.0
(3)	「農」のある暮らし推進事業 (No.62)	2	97.3	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	水産振興事業 (No.63)	1	79.2	100.0	0.0	0.0	0.0
(5)	漁港整備事業 (No.64)	1	74.8	0.0	100.0	0.0	0.0
(6)	特産物普及奨励事業 (No.65)	1	98.6	0.0	100.0	0.0	0.0
(7)	二宮ブランドの普及・促進	-	-	-	-	-	-
(8)							

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労者、事業者双方のニーズが把握できていないため、雇用創出に至っていない。</li> <li>・オリーブの地域ブランド化の確立を図る必要がある。</li> </ul>
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	B
	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会やハローワーク等と連携して、雇用のニーズを確認、分析する必要がある。</li> <li>・荒廃地対策の補助制度や農地中間管理事業等を更に周知する必要がある。</li> </ul>

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 要検討
意見等	<p>町内での雇用ニーズを把握をするとともに、近隣自治体と合同で就職説明会や就職セミナーの実施の検討などを行うことにより、事業を推進していく。</p> <p>農業委員や関係機関等と連携し、更に制度の周知に努めると共に、近隣市町等と連携し地域ブランド化の検討を行う。</p>		

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持

② 改善して町が実施

③ 改善して町以外が実施

④ 要検討

意見等

環境と風景が息づくまちづくりを実現するために、身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。今後、さらに推進するために、社会経済情勢の変化やニーズに応じた求職者と企業への支援を行うとともに、商工会やハローワーク、近隣自治体等と連携による就職説明会等の開催を検討することで、求職者のニーズと企業ニーズのマッチングを促進し、身近な地域で働くことができる環境づくりに努める。また、農業振興は、荒廃地対策の支援や補助制度を周知することで、農用地の有効活用を図るとともに、新たな特産物として普及するオリーブの地域ブランド化を目指すことで、農産物の生産から、加工・販売へと結び付け、さらには雇用の創出につながるよう、継続的な支援を行う。